

土用の丑日

度量衡計量器組合員大會 園遊會場下同行檢分の記

仁井田浦より
山野 遼 庄 吉

◆本月十日より三日間平町の害はなくなる由です。堀に於て下度量衡計量器の氏曰く「セメント社員員大會を開催するに際し平町に於て肺患者を出さず實主側は遠来の同業組合員際この粉塵は肺患の豫防にの献待に腐心し最善の策、なるものを見えませう」縣海岸に案内して園遊會を催し仁井田浦に出つゝ前堀の計劃にて豫定地たる大あり、橋なし、此處に於て浦村仁井田浦城舞子が浴和服の人姿足となり水に入の眺望絶佳の好適地を決り洋服の人を容れし遊定すべくそれが下見分に同洋服の士は鈴木三郎氏關行した。

一行は當會の會長諸橋久は坂田藤助氏に諸橋守次氏太田氏の代理司令官格たる外何れも此處誰が誰の香釜屋商店主人諸橋守次氏に宛てて別別けの一寸の香釜屋の二丁目目田藤助氏つかりとせ置、兎角其の同西村屋敷鈴木三郎氏の行動の雄々しき親善は參謀長の内正一氏、小野同會員同志なればこそ、か勇兵、關内榮助氏、堀喜一も度量の高き量の多き交の氏、山野遼東次郎氏と筆者等々はよ目を嬉しむるの九名自動車に乗し土用入仁井田浦に殺せられしつて初五日の七月二十三日馬の時小松龍三が此地午後一時二十分該會の事をへて豊間、中の作、泉事務所たる平町五丁目目田藤助の創案者祐天上人代表し縣廳方面諒解運動はこれとして目的地の仁に出るに同行副會長鈴木井田浦にこれと、魚釣りの堅助氏に同行して不在の仁が三五五五居、鈴木木り不参加宗像國治氏は都合早速カメラを首にかけて初上汽車にて後より加ふる事出しか、新妻氏の説明になつた。

◆自動車は國道を東に向つ 眺望絶佳、空氣の良きは海を走る。鎌田橋を渡ればの側。神谷村橋下河川には小供等平茶店頭繁盛に忙殺されの水泳するを暇下し、且つ忙中であつて閑な歴々の同會議題に上りし「夏井事」は松風の音、波濤の川下り「中止は事實水量減」は自然の雄大ななるに少なりしを打ち頭つつかつ感じ入りしはが程は只々農事試験分場を右に一路快心の時を過すの衛生と目的地に進む。沿路兩野便利を主眼としてややくの水田に青々として目下二番撰定終り海岸の松林を越ふ田の草除きの模様、本日は四倉町に進軍、談は比較的涼しく進むに連れ風、四倉海岸國有地拂下間加つて涼味を加ふ。大浦題に移りあの騒ぎをした地村仁井田に四ツ倉電氣會社は何處と歩むうち、側々社長當會の副會長たる新妻の田中に草除する。農夫一行は案内の新妻氏を先へて去る。馬車公馬である。盛氏の出迎をうけて下車、り意外！意外！その青年農一行は案内の新妻氏を先へて去る。馬車公馬である。拾名となつて略路海岸に向ふ。「かくの如き青年にして途中警備セメントの粉塵初めて言行一致に敬すべしかつて樹草白かざるを見中堅の青年である」と熱うける。鈴木氏曰く「來年するときは熱しても家に在りなれば同會社にては悪煙つては眞面目なる農夫たり防止器を備ふる事となり此新舞子の風致を稱するより

も心から感嘆之れを八しふせる本部赤井西小川出身の園田敬三郎氏前掲の如き演題の下に南米ブラジル大小河童が男女波女と遊び波濤防波堤を越えて水花を咲かす、小舟大海の情を映かす、よせては返す白浪は彼等浴への友として暖かき砂は彼等をして土龍たらしめたる。本日はいの浪波立業師の前夜祭とか人多く浴場に村上清一長谷川直次郎氏等の同窓生に遇ふ、この防波堤は計劃が狂つた等と語のしつゝあるうちに……

◆一行は四倉切つての有名な旗亭海濱館の二階の人と手もの、鮮やかなる鯉のサシ、揚げ立ての天ぷら等山海の珍味にて銘酒の鶴の徳利はあつた。これらに於けるはメーブルはそれ程あつた。驚くべし海濱館の温度華氏七十度寒さを感ずる体これこそ夏は海岸を遊ばせるも無理もなし、おくれればの宗像氏も加つて暫らく「青空と大海原を吾が胸に酒ももたせよ」を唱へる。その夜一矢の天皇様の森で絶死せるものあり、もうらしめる醫者様がある。行拾名は自動車二台に分乗して一路平の途に就いた時に午後六時十分

◆田中氏の熱癖
田中芳谷氏の宗教即國家をわづらはして居る由で去る七月十三日午後七時去る銀行樓上於て十三日即宗教と題して熱烈なる講演會あつた、平國國會々長長崎開會谷平氏の開會の辭に初つ

◆平沼沼醫師
かくの如き醫師にして初めて醫者仁術の古人の言を信するに足る

◆片岡醫師
中傷は事實無根 信望益々加はる

◆小名濱片岡醫師
江名出張診療

◆國府田氏の盛況を呈した
南米ブラジル建設講演會 福島村建設講演會

◆平沼沼醫師
かくの如き醫師にして初めて醫者仁術の古人の言を信するに足る

◆片岡醫師
中傷は事實無根 信望益々加はる

◆小名濱片岡醫師
江名出張診療

◆小名濱片岡醫師
江名出張診療

◆小名濱片岡醫師
江名出張診療

◆山野遼東次郎氏
草野野次郎氏

◆山野遼東次郎氏
草野野次郎氏

◆山野遼東次郎氏
草野野次郎氏

◆山野遼東次郎氏
草野野次郎氏

◆山野遼東次郎氏
草野野次郎氏

◆山野遼東次郎氏
草野野次郎氏

炎天の下

◆職業婦人として
◆平局交換姫

趣味と所蔵

◆酒井國三郎氏
◆酒井國三郎氏

夜間

◆夜間
◆夜間

社告

◆社告
◆社告

◆平町四丁目
株式百澤商店

◆平町
山崎合名會社

◆平町
山崎合名會社